

進路だより

令和3年10月15日発行

岩手県立釜石祥雲支援学校

進路指導部

中学部後期校内実習

9月6日（月）～9月17日（金）の10日間、中学部後期校内実習が行われました。本来は11月に実施予定でしたが、岩手県緊急事態宣言の発出を受けて、予定を変更し行われました。後期も家庭班と紙工班に分かれ、製品づくりに取り組み、学習発表会の販売会に向けて頑張りました。今回は、コロナワクチン接種の時期と重なり、欠席者もいましたが、「ていねいに・協力して・最後まで」を合い言葉に、目標に向かって一生懸命取り組みました。

家庭班

家庭班では、ランチマットやさしこふきん、コースターなどの製品づくりを行いました。縫い目がずれないように確認しながら、集中して取り組みました。ランチマットは10枚を目標としていましたが、12枚完成させることができました。

線に沿って
丁寧に！



紙工班

紙工班では、ポチ袋やメモ帳、付箋などの紙工製品づくりを行いました。紙すき、プレス、アイロンがけの作業を分担して取り組みました。お互いに声を掛け合いながら、協力して490枚の紙を作ることができました。

確認を
お願いします。



高等部後期校内・現場実習

9月13日（月）～9月29日（水）までの平日10日間、後期校内・現場実習が行われました。

1年生は校内実習を行いました。「自分から進んで動き、声をかけ合い、協力して作業する。」「責任をもって時間いっぱい行き、最後までやりとげる。」の2つ目標をたて、釜石球技場の環境整備やベンチ清掃、すいひ、粘土づくり、巾着づくりなどに取り組みました。前期実習や日頃の作業学習で培ったことを発揮できた反面、課題も見えたようです。来年度の現場実習に向けてこれからの頑張りに期待しています。

2、3年生は現場実習を行いました。前期実習とは別の企業や事業所で実習を行う生徒も多く、緊張感を持って臨みました。特に3年生は卒業後の進路を決める大事な実習でしたが欠勤もなくやりとげました。

今回も新型コロナウイルス感染症拡大が心配される中での実習となりましたが、企業をはじめ各事業所の皆様とご家庭のご理解とご協力により無事に実習を終えることができました。



校内実習



現場実習



アセスメント実習



アセスメントとは?・・・ 最も適した進路に円滑に移行できるように行います!

卒業後すぐに就労継続支援B型の利用を希望する場合は、夏季休業中に就労移行支援事業所で5日間の受ける必要があります。『かまいしワーク・ステーション』、『まごころ就労支援センター釜石』の2カ所の事業所のどちらかで、就労アセスメントを受け現在の働く力がどのくらいあるかを判定してもらいます。

アセスメントを行う場合は、普段の家庭での様子や実習での様子、学校での作業態度など多方面から情報収集します。

アセスメント実施に関わり、保護者の皆様にも情報提供や会議等への参加を依頼する事がありますので、ご協力よろしくお願いします。



まごころ就労支援センター釜石



かまいしワーク・ステーション

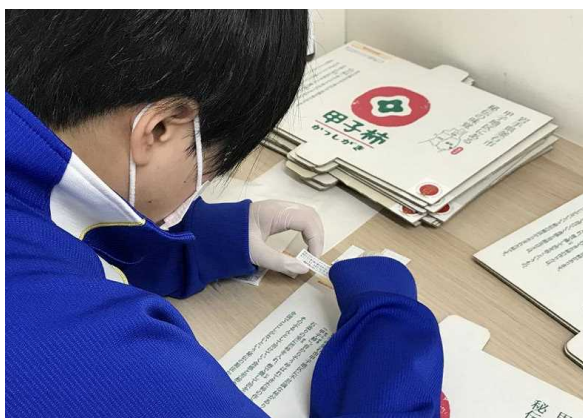
アセスメント実習の様子



今年度は、かまいしワーク・ステーションで4名、まごころ就労支援センター釜石で2名が就労アセスメントを行いました。

今回は、まごころ就労支援センター釜石での実習の様子を紹介します。作業内容は、ぶどう畑の草取りや手入れ、部品組み立てや袋入れ、箱の組み立てやシール貼り、裁縫、ピーマンの拭き方と選別などです。周りの人と協力して取り組む作業や集中力が必要な作業など、様々な作業があり、働く上で必要な力を知ることができました。

休憩時間は、リラックスして先輩方とおしゃべりをして楽しそうに過ごしていました。



甲子柿の箱へのシール貼り



ぶどう棚の整理

先輩から学ぶ会

8月25日（水）、「先輩から学ぶ会」が開催されました。卒業生からの体験を聞くことで、卒業後の将来の生活にイメージを持ち、就労への意欲につなげていくために今年度から取り組むことになった進路学習です。

この日は、「特別養護老人ホームあいぜんの里」（障がい者雇用）に勤務する日向さん、将来的に障がい者雇用を目指し「まごころ就労支援センター釜石」（就労継続支援B型）で働いている竜也さんのお二人（令和2年度卒）からお話をいただきました。進路先を決めた理由や現在頑張っていること、悩んでいること、働いていて楽しいこと、後輩に伝えたいことなどをお話していただきました。自らの体験を踏まえ伝える言葉には社会人になって半年とは思えない程説得力があり、生徒たちは真剣に耳を傾けていました。

「日向さんのように諦めずに頑張りたい」「竜也さんのように何にでも挑戦したい」など自分の進路に向けて前向きな感想が多くみられ、後期校内・現場実習を目前に控えた生徒にとって貴重な時間となりました。



お話を一部ご紹介します。



○進路先を決めた理由は？

- 竜也さん ①職員さんや利用者さんがとてもやさしくコミュニケーションが取りやすかったこと
②作業内容も自分に合っていたこと
③B型で力をつけてから就労移行支援に進み、将来的には一般就労を目指したいから

○楽しいことは何ですか？

- 日向さん ①利用者さんや職場の方とコミュニケーションを取ることに
②自分の給料で、服や好きなものを買うのはとても楽しいです



○後輩たちに伝えたいことは？

- 竜也さん ①体調管理をしっかりしてほしい
②挨拶は自分からする。仕事を進める上で大事なのでしっかりできるように
③作業学習にしっかり取り組んでほしいです

- 日向さん ①やる気をもって働くこと。積極的に動くことが大事です
②休まないこと。休むということは職場にも迷惑をかけます
③挨拶、礼儀、マナーなど何度も言われました。働いてみたら先生方の言っていたことはとても大事なことであったと今になって感じています

職員の事業所見学会

本校職員の希望者で事業所見学に行ってきました！！

毎年夏休み中に卒業生が就職した事業所や在校生が放課後等に利用しているサービス事業所などを見学に行っています。今年度の行き先は2カ所、「一般社団法人えがお」と「夢工房カトレア」です。施設の概要や見学の様子をお知らせします。

【 一般社団法人えがお 】

「えがお」さんは、大槌町に発足した新しい放課後等デイサービスです。主に学校が終わった放課後に子ども達が過ごす場所として、学習や機能訓練等の療育活動を行っています。見学会では施設の様子や子ども達が活動する様子を見学させて頂きました。学習スペースの他に子ども達がゆっくり過ごせる遊戯室も設けてありました。子ども達一人一人の実態に合わせて活動をしている様子を見学することができました。



外観



遊戯室：個別の学習課題やゆっくりできるスペースもありました



【 夢工房・カトレア 】

「夢工房・カトレア」さんは、就労継続支援B型の利用ができる事業所です。ゴム製品のバリ取りや部品の組み立て作業などの作業に取り組む様子を見学させて頂きました。事業所の説明や学校でつけておくべき力などについて職員の方からお話を伺いました。また、卒業生も多く利用しており、チームの一員として頑張っている様子を見ることができました。

【見学】



それぞれの仕事を頑張っています

【体験】



卒業生がやり方を教えてくれました

【質疑応答】



たくさんの質問に答えていただきました



質問コーナー

沢山お待ちしております。

～保護者の皆さんから寄せられた質問にお答えします。～



相談支援専門員って

どんな人？

◎何をする人？

障がいのある人が**自立した日常生活や社会生活を送る**ことができるよう、全般的な相談支援を行う人のことです。

◎いつ関わるの？

「**放課後等テイクサービス**や**ショートステイ**等を利用しようとするとき」や「**18歳の誕生日**を迎え、障がい児から障がい者へ制度が切り替わるとき」、そして「**高等部を卒業**し福祉サービスを利用するとき」などに**利用計画**を書いてもらいます。

◎釜石大槌圏域は？

相談支援専門員は、次の事業所で働いています。この中の事業所から一人選ぶことになります。

- ・相談支援事業所 トーク
- ・相談支援釜石事業所
- ・相談支援事業所 ライトハウス
- ・相談支援事業所 四季
- ・障がい児相談支援事業所 えがお
(R3.11月より年齢制限無し)

福祉サービスを利用するとき、利用計画を私たちが作成します。生徒さんのことを知らないと書くことができません。なるべく早くから関わりを持たせていただければ嬉しいです。



相談支援専門員 A さん

中学部進路学習会のお知らせ

年間行事予定で11月29日(月)に予定されていた**中学部進路学習会**ですが、行事の変更に伴い、**11月19日(金)**に行うこととなりました。詳細は後日文書にてご案内いたしますので、ご確認ください。

進路のことや学校生活について情報提供させていただくと同時に、日頃疑問に思っていることなどを気軽に質問できる場にしたいと考えております。ぜひお越しください。